

第3節 本場、いちご研究所、原種農場の所在地並びに概況

1 本場(宇都宮市瓦谷町 1080)

東経 139° 52′、北緯 36° 37′、県中央部に位置し、地形は沖積地及び洪積地からなり、標高は 150 から 170m である。洪積地の水田の土壌は、厚層多腐植質多湿黒ボクで、表層は腐植に富む植壤土で排水はやや悪い。沖積地の水田は、礫質灰色低地土、灰褐系で、排水は良い。畑及び果樹園は洪積地で、土壌は表層多腐植質黒ボク土で、表層は腐植に富む黒色の壤土で排水は良い。

場用地は、25.9ha で内訳は下表のとおりである。

土地

種 類	面 積
農地	202,489.76 m ²
公舎敷地	1,392.41 m ²
その他の敷地	55,695.24 m ²
計	259,577.41 m ²

施設

- ① 本館
- ② 生物工学研究施設
- ③ 水稻育種施設
- ④ 野菜硬質フィルム温室
- ⑤ トマト次世代型土耕栽培施設
- ⑥ トマト次世代型養液栽培・育苗施設
- ⑦ 環境調節実験温室 A1-14、B
- ⑧ 昆虫飼育室
- ⑨ 車庫
- ⑩ 倉庫
- ⑪ 堆肥舎
- ⑫ 農業未利用資源再利用研究施設
- ⑬ 作物品質調査棟
- ⑭ 架干乾燥室
- ⑮ 試験研究調査室
- ⑯ 調査室、作業室
- ⑰ 作物乾燥調整室
- ⑱ 農機具舎
- ⑲ 架干乾燥ハウス
- ⑳ 花き養液土耕研究開発温室
- ㉑ 花き養液土耕研究開発温室
- ㉒ 花き試験温室
- ㉓ 果樹クローン苗実験施設
- ㉔ 果樹品質調査棟
- ㉕ 選果施設舎
- ㉖ 果樹ボックス生産システム施設



2 いちご研究所・栃木農場（栃木市大塚町 2920 番地）

東経 139° 47′、北緯 36° 25′、県南部に位置し、標高は 58m の平坦地。河川堆積の沖積地で、土壌は細粒灰色低地土、灰褐系である。

農場用地は、10.9ha で内訳は下表のとおりである。

土地

種 類	面 積
農地	89,590.79 m ²
公舎敷地	469.95 m ²
その他の敷地	18,836.00 m ²
計	108,896.74 m ²

施設

- ① いちご研究所研究棟
- ② 研修施設
- ③ 原種作業舎
- ④ 原種低温貯蔵施設
- ⑤ 原種倉庫
- ⑥ 燃料倉庫
- ⑦ 農具舎収納舎
- ⑧ 育種材料乾燥室
- ⑨ ガラス網室
- ⑩ 収納舎（園芸調査棟）
- ⑪ 堆肥舎
- ⑫ 水稻育苗ハウス
- ⑬ ガラス温室
- ⑭ いちご実生育成温室
- ⑮ いちご原々苗増殖施設
- ⑯ いちご遺伝子保存ハウス
- ⑰ 新パイプハウス
- ⑱ ガラス室
- ⑲ いちご育成系統保存ハウス
- ⑳ いちご育苗温室
- ㉑ いちご栽培プラント
- ㉒ 生理生態実験温室
- ㉓ ファイロン室
- ㉔ 夜冷育苗施設
- ㉕ いちご次世代型高機能施設
- ㉖ 交配実生選抜温室
- ㉗ 二次選抜温室
- ㉘ 特性検定温室
- ㉙ いちご新品種開発温室
- ㉚ いちご栽培試験用パイプハウス
- ㉛ 東西ハウス
- ㉜ 公舎



3 高根沢原種農場（高根沢町上高根沢 5904）

東経 140° 00′、北緯 36° 36′、県中央部に位置し、台地で標高は 149m である。土壌は、表層多腐植質黒ボク土よりなる。

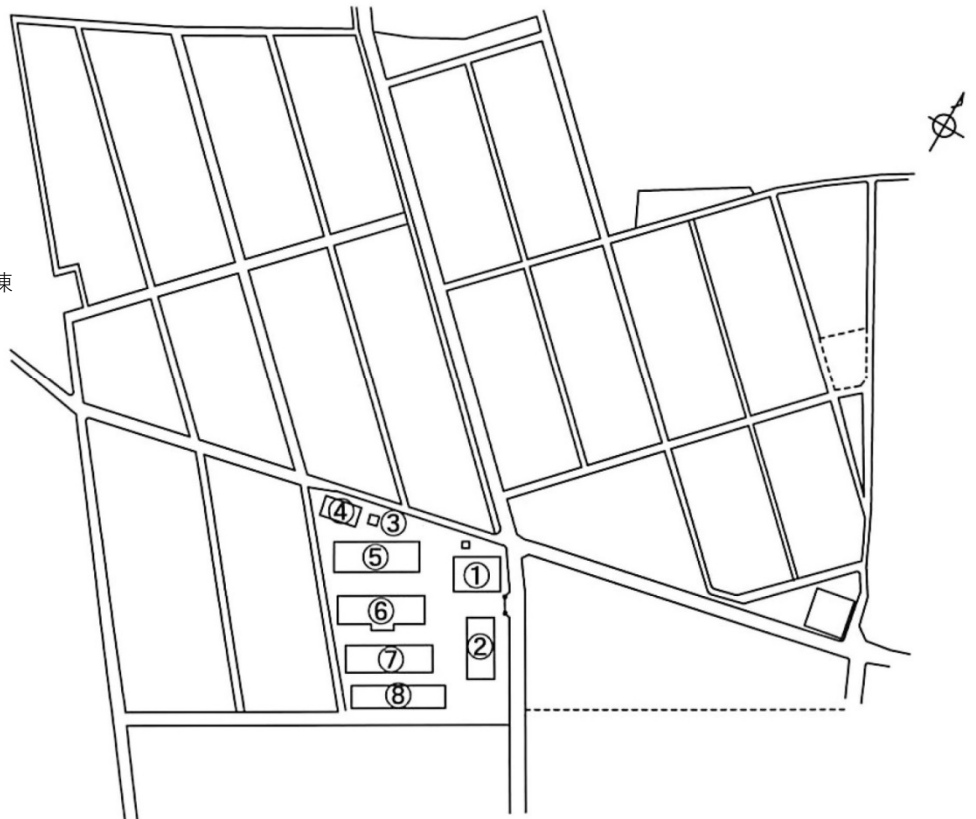
農場用地は、10.5ha で内訳は下表のとおりである。

土地

種 類	面 積
農地	78,000.00 m ²
その他の敷地	27,000.00 m ²
計	105,000.00 m ²

施設

- ① 管理棟
- ② 原々種収納作業舎
- ③ 燃料貯蔵庫
- ④ 堆肥舎
- ⑤ 農具舎・休憩室棟
- ⑥ 原種貯蔵庫
- ⑦ 収納作業舎・車庫肥料庫棟
- ⑧ 育苗乾燥温室



4 黒磯農場（那須塩原市埼玉9の5）

東経 140° 01′、北緯 36° 59′、標高 345m 県北部那須野カ原の中央に位置し、地形は扇状地で、土壌は、表層腐植質多湿黒ボク土及び表層腐植質黒ボク土よりなる。

農場用地は、9.7ha で内訳は下表のとおりである。

土地

種 類	面 積
農地	79,321.65 m ²
その他の敷地	18,344.88 m ²
計	97,666.53 m ²

施設

- ① 本館
- ② 講堂
- ③ 機械室
- ④ 低温貯蔵庫棟
- ⑤ 詰所及び調査室
- ⑥ 作業舎
- ⑦ 油庫
- ⑧ 乾燥調整室
- ⑨ 農機具舎収納舎
- ⑩ 堆肥舎
- ⑪ 収納舎
- ⑫ 育苗ガラス温室

